

令和7年度 第1回 丹波市立図書館協議会 会議録（要旨）

◇日 時：令和7年6月4日（水）

◇開 会：午後2時00分

◇閉 会：午後3時00分

◇会 場：丹波市立中央図書館 視聴覚室

◇出席者：（会 長） 畑田 久祐

（副会長） 中澤 利恵

（委 員） 蔦木 伸一郎 橋本 千英 由良 ゆかり 伏田 雅子

中岡 恵美 増田 博

◇事務局：（教育部社会教育・文化財課）

吉住 健吾 近藤 利明 高見 弘子 嶋崎 美紀 塚田 千晴

◇欠席者：（委 員） 上山 未登利 井上 直志

1. 開 会

進行：丹波市教育委員会教育部社会教育・文化財課 課長 吉住 健吾（以下、課長）

2. 丹波市立図書館協議会長あいさつ

3. 丹波市立図書館長あいさつ

4. 任命書の交付（交代委員）

5. 自己紹介（委員・事務局）

6. 報告・協議事項

以下の事項は、会長の進行による。

（1）令和6年度 丹波市立図書館事業実績及び利用統計について

①令和6年度 丹波市立図書館事業実績

資料1－1

②令和6年度 丹波市立図書館利用統計年報

資料1－2

③令和6年度 丹波市立図書館利用統計年報（電子図書館）

資料1－3

（2）令和7年度 丹波市立図書館事業計画について

①令和7年度 丹波市立図書館事業計画

資料2

説明：図書館係 係長 高見 弘子（以下、係長）

委員

これだけでは、何が課題なのかわからない。協議会の中で、何を議論したいのか、もう少しテーマを絞ってもらいたい。

利用人数が減っていく、貸出人数が減っていくのは、人口が減っているので仕方がない部分があるが、その中でもどういった変化があったのか、ポイントを絞って議論できたら良いと感じた。

貸出冊数や蔵書冊数は大事だが、全体の予算やどういった事業にお金をかけているのかという点の資料があれば、どこにどう力を入れていくのか見てわかると思った。

私は昨年度まで教育振興基本計画の委員にも入っていた。今年度から丹波市の教育が新しい教育振興基本計画に基づき実施されているが、その点を踏まえて、今年、図書館が力を入れていくこと、今年はまだできないが今後、力を入れていくことがあれば、教えていただきたい。

課長

課題について、数値的なところは報告させていただいたとおりで、年々利用者が減っている状況だが、協議会で何を議論していただくのか、今回は詰められていないことを申し訳ないと思う。

丹波市図書館基本計画の策定協議は、具体的に、今後5年間どういったことに取り組んでいくのか議論いただきたい。

予算的な部分は、今後の協議会で事業計画的なところをもう少し具体的にし、金額をどれぐらいかけて実施するかをお示しできればと思う。

図書館基本計画は、当然、教育振興基本計画と整合を図りながら作っていく必要があるので、具体的にどのように整合を図るのかについても議論できればと思う。

委員

広域利用の状況に関して、丹波市民が西脇市立図書館を多く利用しているが、それは、西脇市立図書館が月曜日も開館していることの影響ではないかと思う。

昨年も、開館の曜日をずらしてはどうかという話が、図書館協議会か図書館ビジョン策定場面で出ていたと記憶している。月曜日に図書館を利用できない方が西脇市立図書館へ行っているのではないか。丹波市立図書館も、各館で開館の曜日をずらす工夫も必要ではないかと思う。

丹波市民が市外図書館を利用している数と、市外の方が丹波市の図書館を利用している数を比較するとかなり開きがある。丹波市の図書館が休館日の問題などで利用できないから市外図書館を利用しているのか、図書館が新しくて綺麗だからなのか、何かのついでに行くのか、そもそも蔵書自体に魅力があるのか、理由は定かではないが、結構な差があるので

気になった。

係長

そこまで分析できていないので、資料については、今後工夫していきたい。

委員

丹波篠山市立図書館に行ったときに目にした光景で、図書館の中で、様々な講座を開いて、良いことだなと思った。私が参加したときは、機織りだった。手織りの小さい機械で機織りをした。図書館でこんなこともしているという情報を聞いた方が何人か来られていた。図書館として本の貸出しだけに着目するのではなく、そのような視点も持ってこれから図書館基本計画を考えていったほうが良いと感じた。

係長

参考にして、これからの図書館基本計画を考えていきたい。

副会長

先日、福知山市立図書館に読み聞かせボランティアグループ「たからばこ」のメンバーで行った。日曜日だったこともあり、図書館の中に、若い子や10代の利用者がすごくたくさんいて、勉強したり、本を読んだり、いろいろな過ごし方をしていた。

丹波市立図書館ではスペース的に無理だが、福知山市立図書館は2階建ての大きな図書館で、とてもたくさんのスペースがあり、若い子たちがリラックスした様子だった。若い子が図書館に気軽に來ることができることが、すごく良いなと感じた。丹波市もそうであつたら良いなと思った。

委員

丹波市の電子図書館について、ジャンルを見ていると、小学生向けが多い気がした。中高生が伸び悩んでいることがデータでも出ている。中学生も朝読の時間があると思うが、そこで電子書籍を読んでいるのだろうか。

係長

統計上では、小学生の方が利用している。中学生がどのようなコンテンツだったら読んでくれるのか模索しているところだ。紙の図書でも、中学生は、図書館で言うYA（ヤングアダルト）の世代で、読書傾向にかなり開きがあり選定が難しい。

委員

団体貸出として中学校とやりとりはあるのか。

係長

中学校は、団体貸出があまりない。

委員

学校図書館は、良いコンテンツをそろえているところもある。青垣は攻めた選書というのか、マンガも置いてあり、児童・生徒が図書館を利用しやすいような選定をされている。しかし、電子図書館の利用は、中学生・高校生の利用が少ない点がやはり気になる。

課長

図書館基本計画の中に子ども読書活動推進計画を含めることが決まっている。基礎調査として小中学生にアンケートを行うので、調査内容も協議いただきたい。その中で、どういうものであれば利用したいかを聞いてみたらどうかと思う。

係長

電子図書館の利用状況は、図書館のPRにも問題があると考えている。

会長

中学校の状況はどうか。

委員

団体利用でいうと、ほとんどが調べ学習のための利用である。調べ学習をしたいので図書館で選書してもらえますか？と依頼する形で利用することが多い。以前は、図書館の利用者カードを学校で保管していたが、今年度から、図書館で保管する方式になり、利用しやすくなった。1年生の地域の調べ学習、3年生の修学旅行前の平和学習、そういう場面で使うことが多い。

生徒には、読書は、紙だけでなく電子図書でも良いよと話している。小学校ではおそらくタブレットを毎日持ち帰っている状況だが、中学校は基本的には学校に置いている。持って帰る時は、担任に言って持って帰るという形である。普段は学校に置いて充電しているので、紙の図書は家に持ち帰って落ち着いて読めるが、電子図書はそれができない。それも利用が少ない理由として考えられる。

昼休みは、わりと大勢の生徒が学校の図書室へ行っている。図書委員の生徒が、まずは図書室に来てもらうことが大事ということで、図書室を開けて、良い雰囲気を作りながら図書室の利用を一生懸命に進めているような状態である。

7. その他

係長

3月に開催した図書館協議会で、教育委員に図書館協議会を見に来ていただいたらどうかというご意見が出ていた。

本年度は、図書館基本計画の策定もあるので、その策定過程のいずれかの機会、または図書館協議会長との面談、いずれかの方法で教育委員に図書館のことを知っていただく機会を調整していきたいと思っている。

会長

そのような形で進めてほしい。

8. 閉 会